



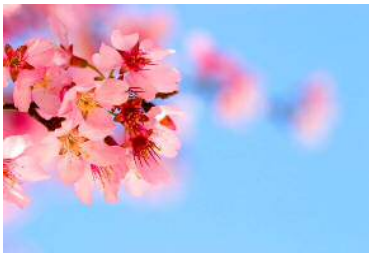
遊便（第8号）
 発行：医療法人仁風会
 発刊日：平成27年4月2日

巻頭言

雲陽の里
 所長 花田 智恵子

雲陽の里は、認知症の方が共同で生活をするグループホームです。現在も九人の方が入居しておりますが、それぞれに違った「生活のしにくさ」を抱えておられます。「忘れていた事が不安でたまらない方」「何をしてもいいのかわからず、ただ横になっておられる方」「一人では心細く誰かに何かを頼みたい方」など開所より今日まで四十一人の方が入居されましたが、様々な困難を抱えておられる方がおられました。対応に悩んだ時には参考になるかと文献も開きましたが、似ているケースでも本に書かれているようにうまくはいかず悪戦苦闘の毎日でした。それでも七人の職員がそれぞれに、そばに座って他愛もない話をしたり、何気ない日常のしぐさの中から得られた情報を持ち寄ることで、何とか取り掛かりの糸口を探り、その細い糸をよりあわせて毎日のケアに仕立てていきます。そして、いつもは不機嫌でなにを言っても応じてもらえない方がふと活動に参加されたり、困りごとでいつも眉間にしわを寄せている方が穏やかに過ごす事ができたりすると、内心「やった」とほくそ笑んだりしています。

何年も前の事ですが、「介護とは何だろう？」とある方に尋ねられたことがあります。その時は禅問答のようで「何でしょう…」と言葉に窮してしまいました。が、今もう一度尋ねられたら「いつでも傍らに居ること」なのではないかと感じています。実際にそばに居る事だけではなく、その方の『思い』の近くに寄り添う事で、「ここは家ではないけれど、とりあえずもう少しここにいてもいいかなあ。」くらいに感じていただければと願いながら、毎日のように起こる「さあどうしよう？」に職員が知恵をしぼりながら向き合っています。



遊便第8号：もくじ

巻頭言	1
特集：シリーズ 認知症病棟の取り組み	2
防災訓練報告 かおるさんのミニクイズ	3
あじさいの会 活動報告	4
地域連携を考える たまごさんからのお便り	5
法人アクセス 編集後記	6



認知症特集
第2回

認知症治療病棟の取り組み

認知症治療病棟
師長 池田 ちず子

八雲病院第Ⅱ病棟は、平成3年5月1日開設された認知症治療病棟で、「精神症状や問題行動が特に著しいにも関わらず、寝たきり等の状態にない認知症疾患の患者さん」を対象としています。自宅や施設で療養が困難な方に、専門的治療と手厚いケアを短期集中的に提供する事で、症状の緩和を図ります。また、在宅治療に必要な日常生活の訓練、ならびに家族への介護技術の指導援助を行うことにより、できる限り家庭での療養を可能にしたり、施設での穏やかな生活を送れる事を目的としています。

高齢化社会を背景に、現在80才以上の4人に1人が認知症の症状を呈し、社会問題として取り上げられ注目される中、認知症治療病棟の位置づけも重要になっています。H25年の統計によれば入院患者様(58名)のほとんどが車イス生活、寝たきり状態(40名弱)です。そして、年間退院者(50名)の内、在宅退院7名、施設入所17名、その他となっております。自宅に帰れる方はほんのわずかです。政府方針での「自宅での生活を支える」にはあまりにも不足な内容であり、患者様の「家で暮らしたい」という願いを思うと、いかにして住み慣れた所での生活を維持してさしあげることが出来るのか、看護者にかけられる期待は大きい

と感じております。

(看護ケアについて)

当病棟の看護体制は、「受け持ち制」と、A・Bチームによる「チームナーシング制」をとっています。「周辺症状の改善」と「生活リズム」を整える事を中心としたケアにより、症状の安定を図り、早期退院を可能にできるように取り組んでいます。

先般の法律の改正により「医療保護入院者の退院支援促進」によって退院生活環境相談員が関わる事によって集中的なケア、きめ細かなケアによる早期退院が可能になりつつあります。そして、受け持ち看護師による個別的看護を中心として「看護計画」「実施」「評価」を行い、認知機能を低下、憎悪させないように少しでも改善できるよう努力し、退院促進の為に医療チームでの取り組みはもとより、リハ活動を充実させるケアが重要になります。2病棟では午前と午後の合間に創作活動、グループレク、ビデオ鑑賞、カラオケ、歩行訓練や座位訓練を通しての関わりを重要視しています。その人らしく豊かに暮らしていく為に、日々どうケアすればよいかを目標にしながら取り組んでいます。

不幸にして身体合併症等を併発され、終末期に至った患者様に対しても、人としての尊厳に配慮し

ながらケアのあり方、家族さんへの対応についても学びながら「八雲病院に入院して良かった。」と言って頂けるケア、病棟作りを目指して取り組んでいます。「心の声をきく」事を大切にし、患者様が笑顔をもって下さる様、努力していきたいと思っております。



伯太のチューリップ畑をイメージして創作された貼り絵



4月には、壁一面に貼り絵の桜が満開に咲き乱れます

平成26年度冬季総合防災訓練

狩野 祐次

12月5日（金）、毎年行っている総合防災訓練病棟を中心に、患者（利用者）さんの避難誘導や実際の通報、他部署間との連携確認を含めた総合的な訓練を行いました。

今年も松江南消防署員の方に消火栓の使用方法等についてご指導いただきました。

訓練とはいえ、実際の災害時に近い状況を設定し警報音の鳴る緊迫した中での訓練を行い、職員一人一人が自分の役割を確認しながらの訓練になりました。



ねたきりの方をストレッチャーへ移動いただきます

ケガのないように慎重、かつ迅速に誘導



南消防署員の方の説明（消火栓の使用）を真剣に聞くスタッフ

☆かおるさんのミニクイズ☆

- ① 夏の甲子園に島根県代表として出場した回数が一番多い高校はどこ？
- ② 島根県の春夏甲子園通算成績は全国何位？
- ③ 今年の春の高校野球の入場行進曲は？ 「○○○○○○○○」
- ④ 甲子園球場の外野寄の観客席を通称何と呼ぶ？「○○○○スタンド」
- ⑤ 夏の甲子園大会歌は何？

※クイズの答えは4ページ下にあります。





ソーシャルクラブ あじさいの会の活動を報告

八雲病院の利用者さんや職員が自主的に集まり、イベント等を計画して、それを通じて仲間の和を広げていくことを目的に開催される交流会です。

昨年度は6、7、10、12、2月の計5回開催しました。たくさんの方に参加頂き、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

今回は、10月のハゼ釣り大会、12月の忘年会、2月に開催されたボウリング大会についてご報告致します。

将来を語り合いながらの忘年会

12月7日に忘年会を行いました。

内容は毎年恒例の昼食の鍋とケーキ、カラオケやプレゼント交換などでしたが、今年は参加者が17人と例年になく多くの皆さんが参加され盛り上がりました。

来年度の内容についてのミーティングもしましたが、「春の花見は木次や三刀屋、千手院などに行きたい。」「大山か三瓶山にデイキャンプ。」「横田の方にサイクリングに行きたい。」など沢山の意見や希望が出ました。

皆さんの趣味や好みを取り入れながら、今後交流の場として仲間の輪が広がっていけばと思います。(貝谷)

釣りがとても美味しかったハゼ

松江市周辺では9月中旬～10月は、ハゼ釣り(地元では「ゴズ釣り」ともいいます)のシーズン。あじさいの会でも毎年10月はハゼ釣りが恒例行事であり、昨年も10月4日に利用者さん9人と職員7人が集まり大橋川において開催しました。

「釣れたー」との声にみんなが集まり笑顔がこぼれる場面もたくさん見られました。

また、釣ったハゼをその場でから揚げにし、一緒に食べるのもこの行事の楽しみの一つ。談笑しながら食べたハゼはもちろん最高に美味しかったです。(秦)



平成27年度の予定

- 6月 室内・軽スポーツ
- 7月 デイキャンプ
- 10月 ゴズ釣り
- 12月 忘年会・ミーティング
- 2月 ボーリング

※日にちは未定です



3ページのクイズ答え：①浜田高校 ②46位 ③アナと雪の女王 ④アルプス ⑤栄冠は君に輝く

恒例のボウリング大会

毎年の恒例行事となったボウリング大会が、2月8日にありました。利用者さん、スタッフ合わせて10人が集まり3ゲーム行いました。

ほとんどのメンバーが、ゲーム数、投球数が多くなるほどスコアが伸びていき、3ゲームが終わるころには、「今からだったのに～」と名残惜しそうにされる方もいました。

終始、笑顔の絶えない(ガーター時の苦笑も含む)会で、とても楽しい時間でした。(福田)



地域連携を考える

Xmasライブ in ビ・フレンドィング



女性メンバー製作
自慢のデコレー
ションでお出迎え

12月19日(金)午後地域活動支援センタービ・フレンドィングにおいてクリスマスライブを開催しました。

このライブは、2006年から年2回夏と冬に行っており、今回で16回目になります。今回はクローバーさんつくしさん、樋野峰久さん、初参加のジョージさんとテイケアたんぽぽさんの5組にご出演いただき、弾き語りなどの演奏のほか、テイケアたんぽぽの皆さんにはハンドベルでのクリスマスソングの演奏をしていただきました。

また、今回初めて平日に開催し、演奏以外にもビ・フレンドィングのレザークラフト、しののめ工房の手芸品、まるベリー松江のパンやクッキーなどの物品販売も行いました。86人というたくさんの方に来場いただき、大変賑わいました。

次回は今年の夏頃の開催になりますが、地域の皆さんへのPRも行っていきたくと思います。(貝谷)



皆さん聞き入っておられました



賑わいをみせた物品販売

たまごさん からの お便り



目を細め 実習生を歓迎する利用者さん

松江西高校・湖東中学校から実習

平成26年11月5日・7日・10日・13日に松江西高校より2人の女子生徒さんが2日ずつ施設実習のために、11月20日・21日に湖東中学校からは1人の女子生徒さんが福祉体験学習のために、雲陽の里にられました。

かわいらしい笑顔に目を細め、2日目には「おいでになるのを待ってましたよ」としっかり覚えておられる利用者さんもいらっしゃいました。

実習後の感想で、「自分でできる事は自分でされていて、すごいなと思いました」と認知症に対する考えを改めた生徒さんもありました。

皆さん福祉系の進路を希望しておられるとの事で、「現場に来る日を待ってるからね!」と激励せずにはいられませんでした。(花田)





わたくしたちは心の声を大事にします
 わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

医療法人仁風会

○八雲病院 外来診療時間

平日 8:30-12:30 / 土曜日 8:30-11:30
 休診日 日曜日, 祝日

松江市大庭町1460-3 電話(0852)23-3456(代表)
 FAX(0852)23-3495

○デイケアたんぽぽ(精神科デイケア) ※お問い合わせは代表まで
 月曜日-金曜日 午前9:30-午後3:30

○デイケア八雲(重度認知症デイケア) ※お問い合わせは代表まで
 月曜日-金曜日 午前9:00-午後3:40

○コスモス(指定障害福祉サービス事業所)
 松江市大庭町1459-1 電話(0852)23-3360
 FAX(0852)23-3370

○ピ・フレンドリング(地域活動支援センター・相談支援事業所)
 松江市大庭町1461-3 電話(0852)23-4111
 FAX(0852)23-4112

○雲陽の里(認知症グループホーム・介護保険)
 松江市大庭町1459-1 電話(0852)23-3700

○八雲病院居宅介護支援事業所

松江市大庭町1460-3 電話(0852)23-3456(代表)

○八雲ハイツ(精神障害者グループホーム)

松江市矢田町107-4

ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、ぜひ下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会、広報誌「遊便」共々よろしく願い致します。

〒690-0033

松江市大庭町1460-3

(医)仁風会 八雲病院

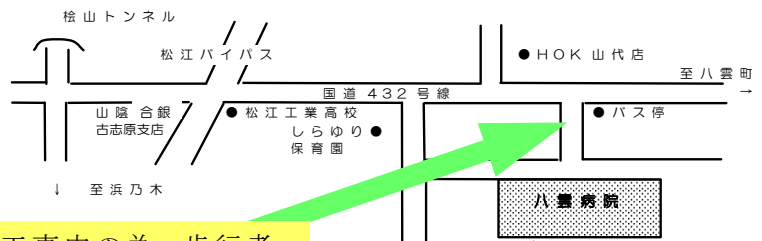
広報委員会 まで

東日本大震災から4年がたちました。メディアではほとんど取り沙汰されなくなり、震災や原発事故について風化を感じている被災者が、8割近くに上っている事がNHKが行ったアンケートで分かりました。かく言う私も、意識が風化してきているのが現状です。そんな中、フジテレビ「スマスマ」ではこの4年間、毎週欠かさずラストに東日本大震災の義援金を呼びかけていて、番組内容は別としてすごい事だなと感じています。私は旅行が好きなので、今年は復興支援も兼ね、東北旅行に行ってみようかなと思っています。

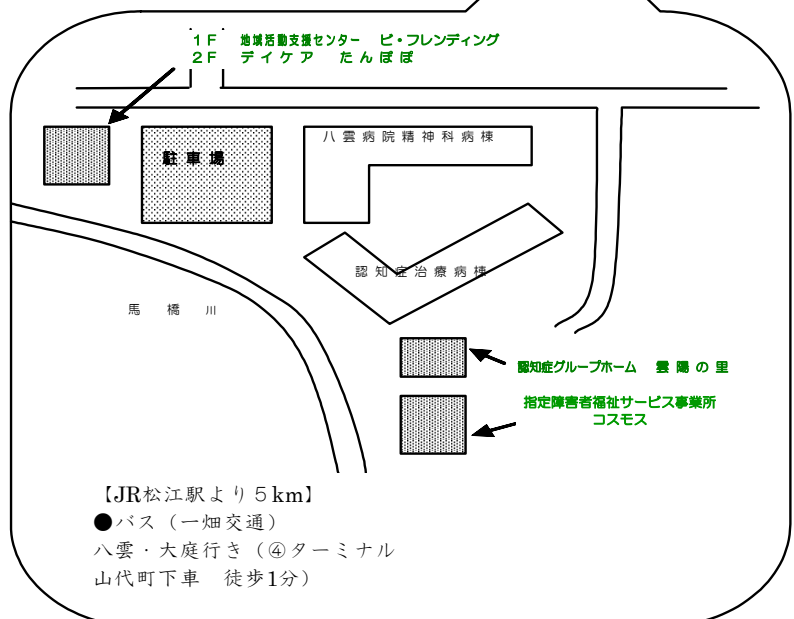
編集後記

広報委員 福田

【ご案内】



工事中の為、歩行者・自転車のみ通行が可能



【JR松江駅より5km】

●バス(一畑交通)
 八雲・大庭行き(④ターミナル
 山代町下車 徒歩1分)